

# 西地区児童館放課後子ども教室だより

No. 2

令和7年 12月 27日

## 【合言葉 きまりを守り 元気にあいさつ】

今年も夏の猛暑に悩まされる日が続きましたが、11月に入り一気に寒さが厳しくなりました。

そんな中でも、子ども達は季節の工作や運動遊びなどに意欲いっぱいに取り組み、友達と協力し合う姿をたくさん見せてくれました。

子ども達の元気な笑顔に支えられ、私たち職員も充実した日々を過ごすことができました。

### ◆遊びクラブを開催しました

#### [7月]

○7/9 1学年 講師：S C軽井沢クラブ 小林訓起先生

3回目の「遊びクラブ」を実施し、12名の子ども達が参加しました。

今回のテーマは、「いろいろな歩き方や走り方」に挑戦しました。

走らずに歩く、腿上げをする、クロス走りをするなど色々な条件で競争しました。

小林先生の「赤（その場で止まる）」「青（前へジャンプする）」「黄色（後ろへジャンプする）」の掛け声を聞いて行動するゲームをし、慣れてきたら新たに2種類の「鬼ごっこ」が追加され、子ども達は次々と変わっていくルールに耳を澄ませて、集中して楽しみました。最後に障害物があるアスレチックを走り、子ども達はお互いに競いながら何周も駆けていました。

終了のお知らせをすると「もっともっと走りたかった！」と残念がっていました。

#### [9月]

○9/10 1学年 講師：S C軽井沢クラブ 小林訓起先生

4回目の「遊びクラブ」を実施し、12名の子ども達が参加しました。

今回のテーマは、前回に引き続き「いろいろな歩き方や走り方」を学びました。

初めは走らずに歩く、腿上げ・かかと上げをする、スキップ・後スキップをする、クロス走りなど色々な条件で体を動かしました。

次に小林先生がマーカーを並べ、マーカーの色によって体を動かす遊びに挑戦しました。「赤色は（右足で）」「青色（左足で）」「緑色（両足で）」「黄色（しゃがむ）」「ピンク色（拍手）」「橙色は（後ろ向き）」。決められたマーカーの動きを覚え並べられたマーカーの順に体を動かす遊びに挑戦しました。はじめは戸惑っていましたが次第にテンポ良く楽しんで遊んでいました。

恒例の「じゃんけん列車」は2回とも小林先生が優勝し、「あーまた負けちゃった！」と子ども達はとても悔しがっていました。

最後に「お宝ゲーム」を行い、宝石を守る先生につかまらないように逃げ回り、子ども達は宝石を全部持ち帰り子どもたちの勝利、2回目は子ども達が宝石を守り先生が持ち帰る番で、子ども達は一つも持ち帰らせずに守り終了し「やったー！」と喜んでいました。

体育館中を走り回り「つかれたー！」とても疲れた様子でした。



## [10月]

○10/8 1学年 講師：S C軽井沢クラブ 小林訓起先生

5回目の「遊びクラブ」を実施し、13名の子ども達が参加しました。

今回のテーマは、「ボールで遊ぼう」を学びました。

前半は「じゃんけん鬼ごっこ」や「しっぽ鬼」で体を動かしたあと、小林先生の指示を聞いて動く「マーカー信号ゲーム」で遊びました。

次に「信号ゲーム」を行い、小林先生が「青」と言ったら一步前進、「黄」と言ったら一步後退、「赤」と言ったら止まるゲームを行いました。少し慣れてきたところで、「白」(子ども達が小林先生を追いかける)、「黒」(小林先生が追いかける)が追加され、小林先生を捕まえようと一生懸命に追いかけたり、小林先生から逃げようと「キヤー」と叫びながら逃げ回っていました。

後半は、ボールを使った2つのゲームに挑戦しました。まずは、コーンをピンに見立てたボーリングです。自分で倒せそうな距離にコーンを置いて挑戦し、だんだん距離を伸ばして上達を楽しんでいました。

次に「転がすドッジボール」を行いました。体育館のラインに区切られた四角の中で、転がされるボールを避けながら逃げ回る遊びです。当たった人は外に出てボールを転がす役になります。子ども達は「絶対当たらないぞ！」と夢中になって走り回り、息を切らせながらも笑顔いっぱいで楽しんでいました。

## [11月]

○11/12 1学年 講師：S C軽井沢クラブ 小林訓起先生

6回目の「遊びクラブ」を実施し、9名の子ども達が参加しました。

はじめに体育館を3周し、体を慣らしたあと「三角鬼ごっこ」を行いました。体育館の中心のサークルに三人が立ち、前の人の腰に付けたビブスを取る。また、後ろの人にビブスを取られないようにするゲームです。周りを気にしながら体育館中を走り回っていました。

最後は「サーキット」を行いました。遊具を使い複数の運動を順番に行い、バランス感覚や全身の筋力、体験する遊びです。体育館中に置かれた5種類の遊具をジグザグ走行・ケンケン・梯子飛び・ジャンプ等決められたルールに従い4周しました。少し休んで逆回りで4周しました。とてもきつかったのか終了後、横になって休んでいる子どもが多くいました。

## ◆体験教室を開催しました

### [7月]

○追分節をみんなで学ぼう 7/16 全学年 講師：追分節保存会 15名

122名の全児童が参加し、江戸時代から伝わる伝統音楽を体験しました。

はじめに全学年で追分馬子唄を聴いたあと、高学年は遊戯室で三味線と太鼓の体験を、低学年は学習室で追分馬子唄の歌や馬鈴、馬のひづめ音づくりを体験しました。高学年はバチの使い方や音の出し方を教わりながら真剣に取り組み、「もう一回やりたい」という声も上がりました。低学年も追分節保存会の方と一緒に楽しく、歌や音づくりに挑戦し、体験後は「楽しかった。」「もっとやりたい。」といった感想が多く聞かれました。追分節保存会の内堀会長からは、「最初は声が小さかったけど、最後にはしっかり声が出るようになった。ぜひ家でも歌ってみてください。」とお話をありました。



## [8月]

○夏休み工作 7/28～8/1 全学年 講師：西地区児童館厚生員

熱中症指数計のレベルが高く外遊びができない時間帯を利用し、午後1時半から3時を目安に行いました。

今年はカラフルなコップ作りにチャレンジしました。カラーのプラスチックコップを使って、側面に麻のひもを巻いて周りに透明なビーズやカラフルな花、モールやポンテでサクランボを作って両面テープで貼り付けました。

子ども達それぞれのアイデアやセンスが光り素敵な作品に仕上りました。あまりの麻ひもで、リボンを作ったり高学年は工夫も見られました。

## [9月]

○太太神楽 9/3 4～6学年 講師：軽井沢御神楽保存会3名

42名の4～6学年児童が参加し、峠町の熊野皇大神社に古くから伝わる神楽を体験しました。

はじめに軽井沢御神楽保存会の方から「神楽」について説明を受け、映像で「舞い」を鑑賞しました。鑑賞後感想を聞かれる子ども達は「お面が怖い」「どのくらいの時間踊るの。」「お米を蒔くのはもったいない。」「お米は新米・古米・備蓄米じゃないよね」など素直でユニークな感想や質問をたくさんしていました。

その後、実際に使われているお面や太鼓を見せてもらい、「散米の舞」を目の前で披露していただくと、子ども達は興味津々で見入っていました。

最後まで積極的に質問する姿が見られ、軽井沢御神楽保存会の皆さんも「子ども達が関心を持ってくれてうれしい。」と話されていました。



○作品展に向けての作品作り 9/17～18 全学年 講師：西地区児童館厚生員

「借宿公民館及び町総合文化展」に出品する作品作りに取り組みました。

123名の希望児童が参加し、「借宿公民館及び町総合文化展」に出品する作品作りに取り組みました。今年は麻紐を巻いたおしゃれなコップやスクラッチアートや自由な作品を作り出品しました。

## [11月]

○読み聞かせ 低学年 11/19 講師：「かしわの会」3名

56名の子どもたちが参加しました。「おむすびころりん はっけよい！」という絵本を読んでいただきました。

「三角おむすびの国」と「まんまるおむすびの国」があり、両国の関係が悪くなり、「三角おむすびの殿様」と「まんまるおむすびの殿様」が相撲で勝負することになりました。

最後は、「三角おむすびの殿様」と「まんまるおむすびの殿様」が合わさり「俵おむすび」になり両方の国が仲良くなる結末でした。

子ども達は、「三角おむすびが好き」「私は丸」と言いながら楽しそうに聞いていました。



## [12月]

### ○しめ縄づくり 高学年 12/10 講師：借宿地区の方4名

25名が参加しました。大人の手でひと握り位に分けてあるわらの束を3つに分けて時計回りにねじっていきます。講師の先生にお手伝いいただきながら取り組みましたが、なかなかうまく形が整えられずとても難しそうでした。最後におんべ（半紙を切ったもの）2枚と松をつけて完成です。しめ飾り（神様は）は魔除け、家内安全と豊作祈願のために飾られるものです。子ども達は作り終えて「難しかった。」「手が痛かった。」と言っていました。この伝統行事は子どもたちが大人になっても伝えたいってほしいと思います。



### ○ボディーパーカッション 低学年 12/10 講師：牛草超子先生



39名が参加しました。初めに牛草先生から「ボディーパーカッション」について話があり、その後、牛草先生の合図で、立ったり・座ったり、前を向いたり・後ろを向いたりして、ウォーミングアップをしました。

次に、リズムに乗り全身を使って牛草先生や友だちの動きのマネをしました。

最後は、全員で一つの円になり曲に合わせて4つのグループごとに担当したリズムを順番に打ったり、一斉に打ったりしました。曲が終わった時の子ども達の達成感を味わった表情はとても輝いていました。

自分の体（手拍子・足踏み・お腹をたたくなど）を楽器に見立てて音楽を楽しみ、素敵な時間となりました。

牛草先生からは、「自由にやること・楽しくやることが大切。」と励まされました。

子ども達の感想は、「とても楽しかった。」「またやりたい。」「いい汗かいた！」などとても楽しそうでした。

今年も残すところわずかとなりました。保護者の皆様のご理解とご協力で、本年も児童館の活動が無事終了しようとしています。

子ども達の元気な笑顔や成長の姿に、私たち職員一同もたくさんの元気と喜びをもらいました。日々のご利用を通じて、多くの思い出を作ることができたことを心より感謝申し上げます。

来年も子ども達が安全に楽しく過ごせる場所であるように努めてまいります。

感染症が流行する時期でもありますので、ご家族皆様、お体ご自愛いただき良い年をお迎えください。